

# 有明海沿岸に分布するクド造り民家の気候適応性能調査

Climatically adapted performance of the traditional houses in areas along Ariake Sea

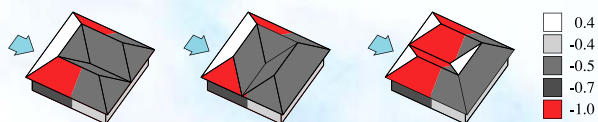
長野和雄、堀越哲美、宇野勇治、兼子朋也、鈴木健次

NAGANO Kazuo, HORIKOSHI Tetsumi, UNO Yuji, KANEKO Tomoya, SUZUKI Kenji

有明海沿岸（佐賀県鹿島市近辺）のクド造り民家が  
屋根谷方位を北北東（玄関方位を南南西）に向けている要因を探る。

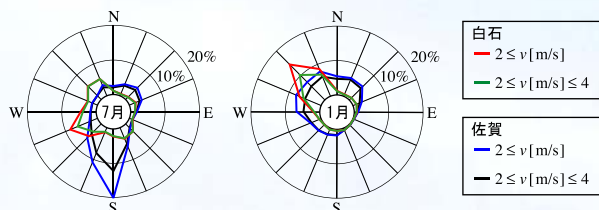
## 耐風性能

### 風力係数



屋根がめくれ上がる力が大きくかかるのは（係数-1.0）  
屋根谷に風が吹き付ける時（図右）。

### 卓越風向

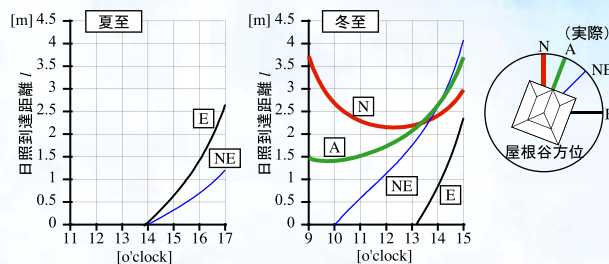
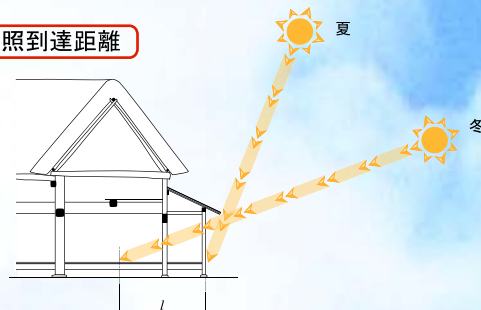


夏に南西～南、冬の北西の強風が吹き、北東～東風は  
吹いても強くない。

屋根谷を北東から東に向けるのが最も風に耐えやすい。

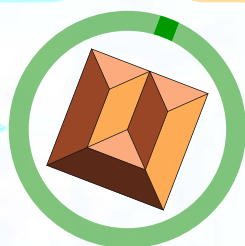
## 採光性能

### 日照到達距離



夏至には北・北北東（実際）のとき直射光が差し込まず、  
冬至には北・北北東（実際）の順に日照導入がよい。

屋根谷を北（玄関を南）に向けるのが最も採光条件がよい。



耐風と採光のバランスが最もよい北北東に屋根谷方位が向いている。

